

2017年5月吉日

災害アーカイブご担当各位

図書館総合展運営委員会事務局
国立研究開発法人防災科学技術研究所

企画展示「全国の災害アーカイブ実施図書館」掲載情報の募集のお願い

時下ますますご清祥の段、お慶び申し上げます。平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、図書館総合展運営委員会では、来る7月10日(月)、熊本市におきまして「図書館総合展 2017 フォーラム in 熊本」を開催します。本フォーラムは防災科学技術研究所様のご後援・ご協力のもと、「災害と図書館」をテーマに、災害アーカイブを通じて図書館が防災・減災に役立つこと、また図書館自体の防災対策等を論じてゆくもので、全国から200名程度の参加を見込んでおります。

その中で、被災経験のある全国の図書館等施設が行っているアーカイブ事業を集めてパネルで紹介する展示を、二者の共同で企画しました。本企画は、今回の熊本での展示にとどまらず、11月開催の第19回図書館総合展でも展示、防災科学技術研究所のwebサイト上でも公開します。またこれを機に、図書館における災害アーカイブに関する情報共有の場づくりへと発展することを期しております。つきましては、下掲いたしました趣旨と要項にお目通しいただき、この企画展示へ情報提供をお願いしたく、参加をご検討いただければ幸いです。

記

<展示概要>

■コーナー名:全国の災害アーカイブ実施館(仮)

～図書館の収集する災害資料が、ヒト・モノ・コトを次の災害から守る～

■展示の趣旨

災害発生の後、当地の図書館が被災に関するアーカイブを行う例が増えてきましたが、いまだ定式が定まらず、各館手さぐりな状態が続いています。この企画は、先行事例やいざというとき参照すべき図書館・施設に関する情報を一覧できるようにすることを第一の目的とし、ひいては本企画に参加する各館の間にノウハウ等の情報が共有されることで、より有効なアーカイブが構築されることを期しています。

■展示の対象となる図書館:

- ・災害を経験した地域の図書館等で、当の災害資料を積極的にアーカイブしている施設
- ・被災地ではないが、災害資料を集約する役割を果たしている機関・施設
 - ※災害は、地震・台風・洪水等の自然災害に限定せず、火災・事故等の災害も含むものとする。
 - ※災害の発生時期は限定しない。

■展示内容

- **パネル展示:各館の行う災害アーカイブの情報(テキスト・写真)を1館ずつ掲載したものを掲示**
※別紙書式にご記入いただいた情報(テキスト)、およびお送りいただいた写真を元に事務局で定型の掲示物を作成します。
※用紙サイズについては、掲載館の数と会場スペースの関係で決定いたします(A4ヨコの見込み)。
- **配布物1:本企画で展示しているアーカイブ実施図書館の詳細情報をリスト掲載したリーフ(A3判)**
- **配布物2:各館アーカイブ事業の紹介パンフレット、ちらし** ※アーカイブ事業そのもののパンフがない場合、図書館案内のパンフでも構いません。※200部程度の配布を見込んでいます。

<ご用意いただくもの>

1. **掲載テキスト情報** :PRフレーズ～24字、概要～200字ほか。フォームにそってご入力ください。
2. **掲載写真×3枚** :デジタルデータ
3. **アーカイブ事業を紹介するパンフレット、ちらし 200部** 〈任意〉
※6月末に、別途指定する送付先にお送りいただく予定です。なお、スペースの関係上、1館1種類でお願いします。また、同様にスペースの都合からA4三つ折りサイズにさせていただけますと助かります。

<申込について>

■参加費用等:

無料です。

■申込方法:

申込フォーム(エクセルファイル)に必要な図書館情報を入力していただき、画像ファイル(3枚)と一緒にメール添付で下記までお送りください。メールの件目を「全国の災害アーカイブ実施館」としてください。

■申込期限:2017年6月26日(月)

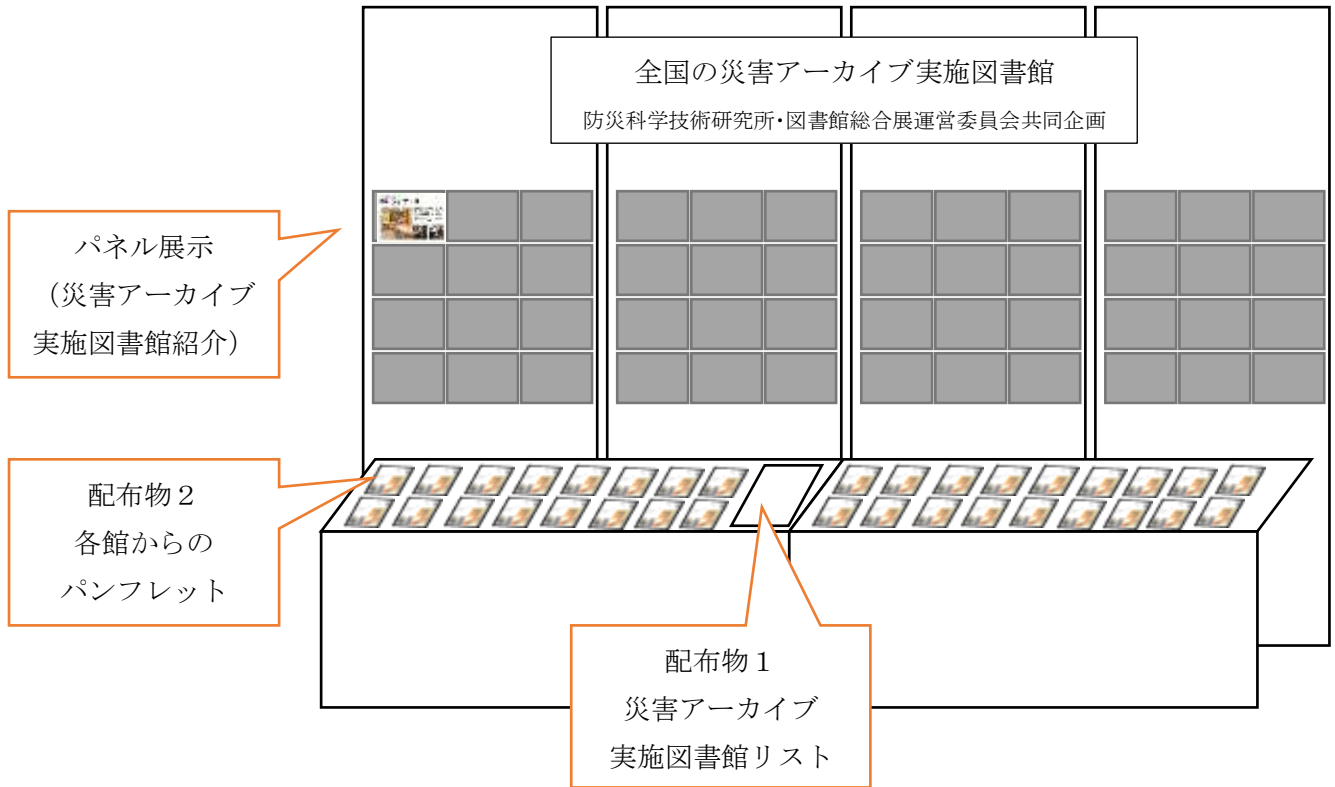
■送付先及び問い合わせ先:

「全国の災害アーカイブ実施館」申込み口:

linfo@j-c-c.co.jp

以上

災害アーカイブ実施図書館紹介コーナーのイメージ



イメージ(昨秋の図書館総合展「こんなにある、あなたも使える専門図書館」コーナー)

